

東北地方太平洋沖地震による津波被害を 踏まえた津波警報改善への課題

資料6

- 課題1.初期段階での地震規模の適切な推定、
警報のより迅速な更新
- 課題2.警報や情報の内容、タイミング
(安心情報として受け止められた例あり)
- 課題3.警報・情報の確実な伝達
- 課題4.防災計画とのリンク
(警報や予想される津波の高さに応じた迅速、適切な避難等)
- 課題5.通信断、機器損壊、長期停電などによる地震・津波観測点からのデータ断

津波警報改善と監視体制の強化

- 東北地方太平洋沖地震による津波被害を踏まえた津波警報改善に向けた勉強会
- 津波警報の発表基準等と情報文のあり方に関する検討会

(1)津波警報の改善

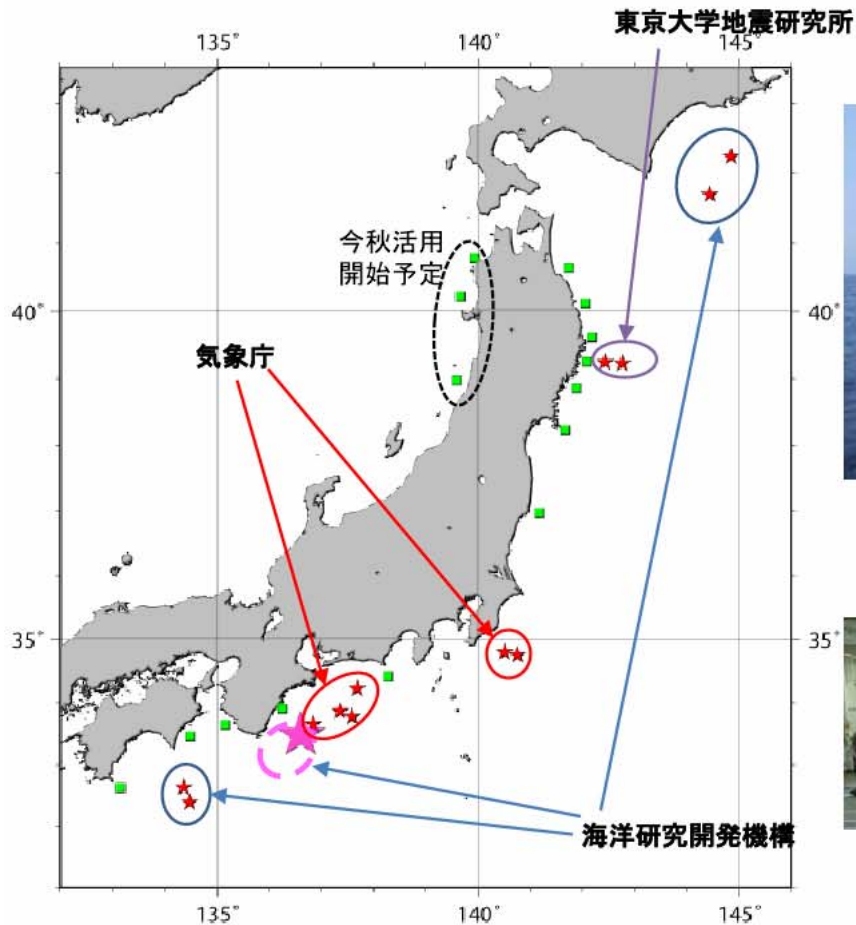
- ・広帯域強震計による巨大地震の規模の早期把握
- ・津波観測施設の強化等
- ・巨大津波予測技術の高精度化に関する緊急研究
- ・大規模津波防災知識の適切な普及の推進

(2)東海・東南海・南海地震等の観測・監視体制の強化

- ・多機能型地震観測装置の追加整備
- ・歪観測施設の電源・通信機能の強化

海底・海上の津波観測点の活用

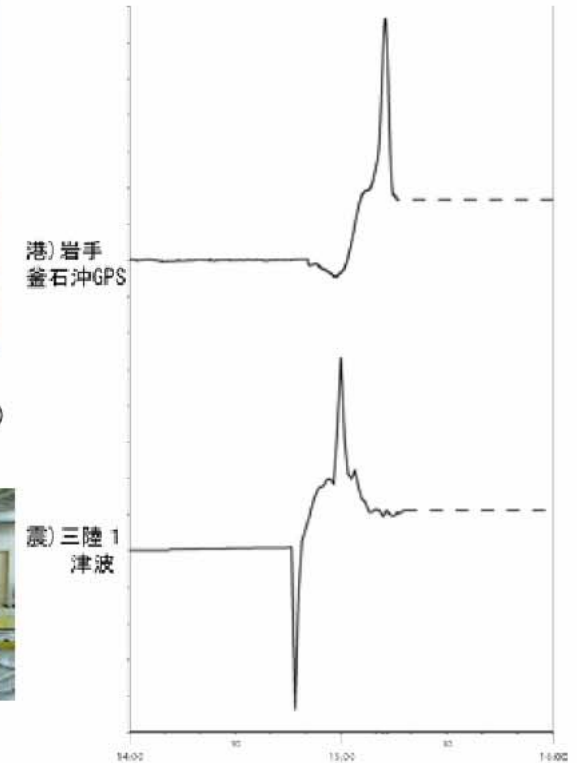
GPS波浪計及び海底水圧計 配置図



岩手県釜石沖のGPS波浪計
(写真提供:国土交通省東北地方整備局)



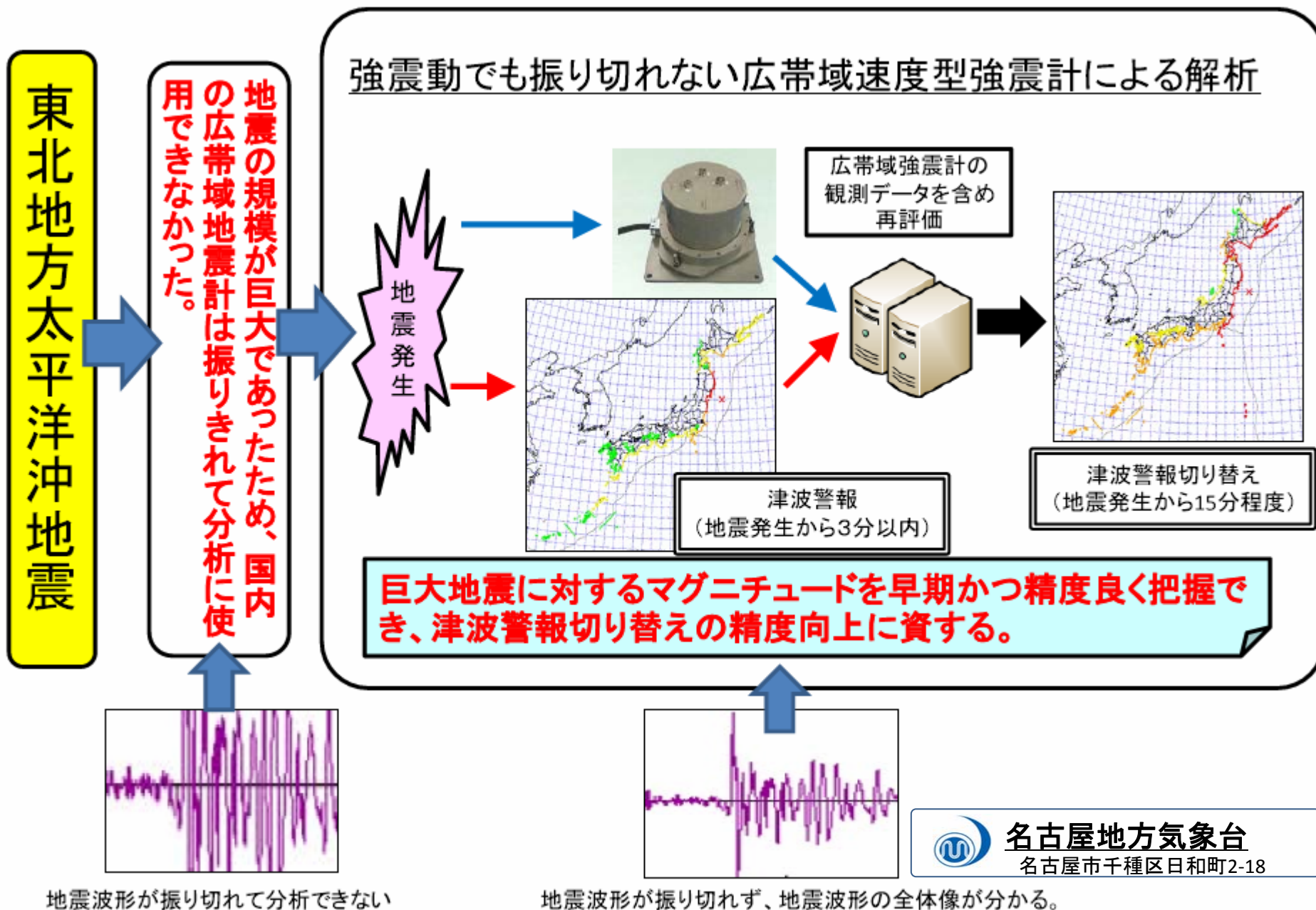
東南海沖海底津波計敷設作業(気象庁)



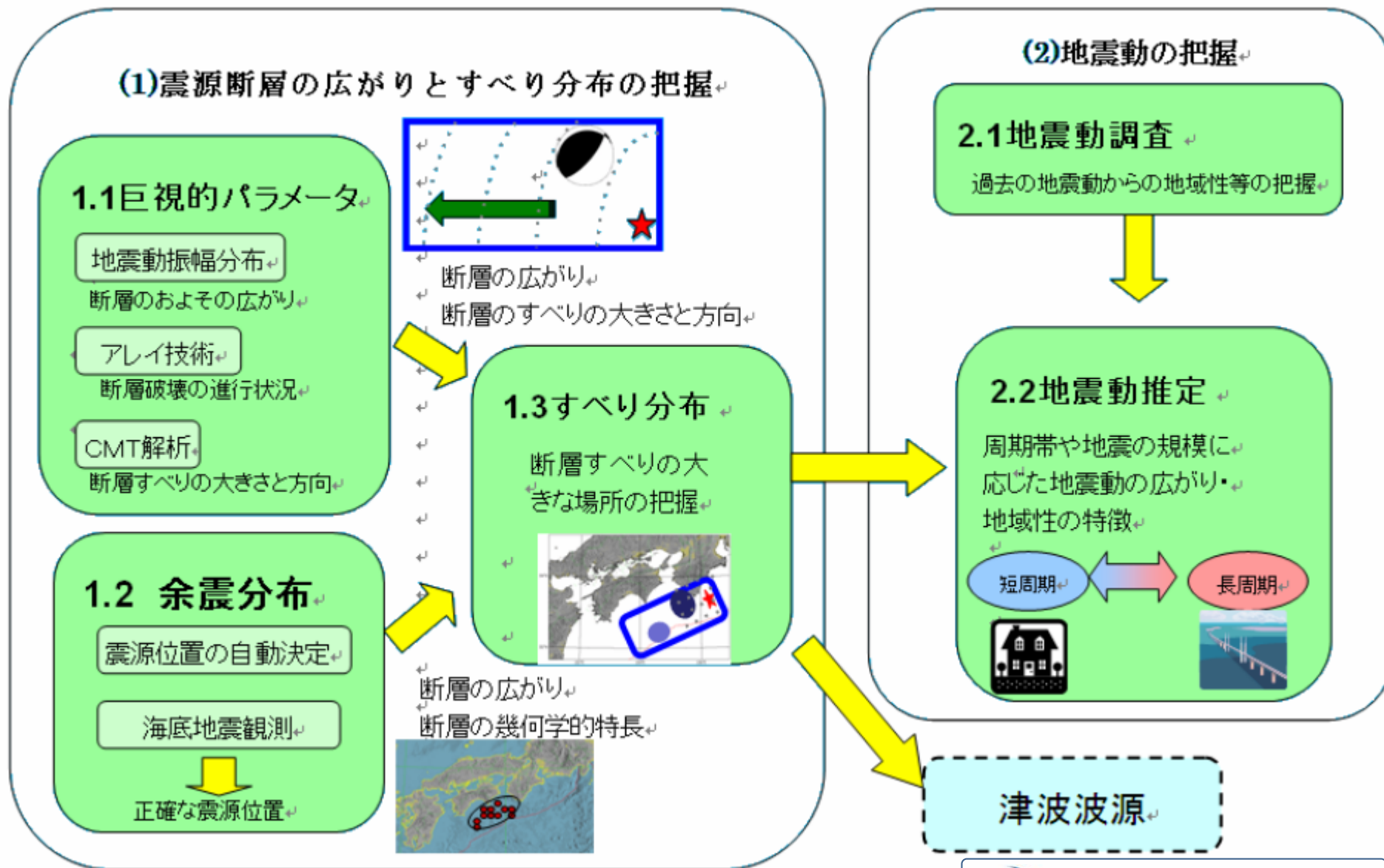
- GPS波浪計 (国土交通省港湾局)
- ★ 海底水圧計 (東京大学地震研究所, 海洋研究開発機構, 気象庁)
- ☆ 海底地震・津波観測ネットワークシステム (海洋研究開発機構)



広帯域強震計による巨大地震の規模の早期把握



巨大津波予測技術の高精度化に関する緊急研究



既設観測施設の電源・通信機能の強化

